

2023 新年 学校・職場づくり学習会

主体性の評価とは どうあるべきか



第1部 講演 10:00～12:00

オンライン併用

「観点別評価」や「大学入試への主体性評価」で学校はどう変えられてしまう?

講師 光本滋先生

北海道大学大学院教育学研究院准教授・専門は教育社会科学
著書に「2020年の大学危機—コロナ危機が問うもの」他

高校では高校1年生から新学習指導要領が実施され、観点別評価の導入が一気に進んでいます。新学習指導要領は教育内容ベースから、何ができるかという「資質・能力」論へ転換されたのが大きな特徴で、その中で、「主体性」や「自発性」の名のもとに、「のぞましい心構え」を生徒の内面に押しつけることになることが危惧されます。生徒の主体性評価が調査書や大学入試と連動して進学に活用されつつある中、その本質と問題点を考えます。

第2部 座談会 13:00～15:30

会場のみ

「大学生」は主体性をどう捉えているか

ガチトークでせんせいを目指す「大学生」と教育を語り合おう!

「ブラックな職業?」と聞いてはいるが「やっぱり先生をやりたい!」という大学生と本音で語り合い、今の教育を捉え直します。「主体性」を問われてきた世代の学生達が考える「主体性」のあり方や教育現場への期待や不安、高教組教員による高校現場のありのままを交流しましょう!(定員50名)

日時: 2023年1月8日(日)

10:00～15:30

場所: 北海道高等学校教職員
センター4F(大会議室)
(札幌市中央区大通西12丁目)



↑申し込みは上記QRコードか、参加時間・参加形態が分かるようにメールで(1月6日迄)